

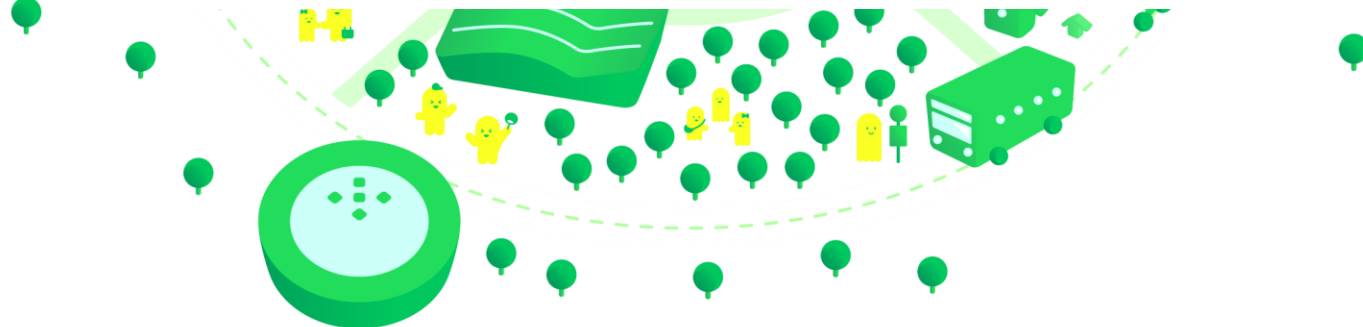
令和4年度 モビリティコンソーシアム マイクロモビリティPT



開始までお待ちください。

■ Zoomの設定のお願い

- カメラオン
- お名前:「会社名__お名前」



第4回2023年1月25日

オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名 お名前」としてください。（例：千葉市 鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
 - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
 - 発表資料に非公開情報が含まれます。



令和4年度 モビリティコンソーシアム マイクロモビリティPT



第4回2023年1月25日

PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストン		WG #1		PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項					実証公募					マイクロモビリティ 実証実験		

第1回

今年度の取組の方向性決め

1. 今年度のPT目標共有
2. 今年度の方向性検討
 - ・昨年度実証実験結果の振り返り(ドコモ様、長谷川工業様)
 - ・今年度検証項目の討議
3. モビリティステーション活用の案出し

第2回

利用促進に向けた課題検討・アイデア出し

1. 実証実験公募概要説明(実証採択者)
2. サービス利用時の課題解消案の具体化
3. モビリティステーション設置の具体化(車両・機能)

第3回

モビリティステーション視察

1. OpenStreet株式会社様より取り組みのご説明
2. モビリティ試乗体験
3. 視察での気づきと幕張新都心への活用に関する討議(グループワーク)

第4回

実装・来年にむけた検討

1. 今年度PTの振り返り
2. 来年度以降に向けた討議
 - ・社会実装に向けたサービス案の選定、課題抽出
 - ・社会受容性向上や安全性について討議
 - ・来年度の体制について討議

本日の目的とアジェンダ

来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制に関する討議を行います

目的

1. 来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制に関する意見交換
※今年度実証実験の進捗共有は、進捗の関係で今回は中止（※WGで発表予定）



	アジェンダ	発表者	時間（90分）
10:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
10:35-	来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制について		
	各社取り組みたい内容の発表	-	30分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	10分
11:30-	来年度体制について		
	今年度PTの振り返り	事務局（千葉市）	10分
	来年度に関するアンケート結果の共有	事務局（千葉市）	5分
	グループワーク	-	15分

イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです

PT参加団体名（順不同）

株式会社アイシン

株式会社建設技術研究所

株式会社NTTドコモ千葉支店

シャープ株式会社

OpenStreet株式会社

株式会社千葉ステーションビル

本日も欠席団体名（順不同）

M S & A D インターリスク総研株式会社

ダイナミックマップ基盤株式会社

株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

長谷川工業株式会社

千葉大学

幕張ベイタウン自治会連合会（オブザーバー参加）

来年度に向けた施策案の具体化について

続いて、社会実装に向けた施策案の具体化についての討議に移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
10:35-	来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制について		
	各社取り組みたい内容の発表	-	30分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	10分
11:30-	来年度体制について		
	今年度PTの振り返り	事務局 (千葉市)	10分
	来年度に関するアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	5分
	グループワーク	-	15分

各社発表の流れ

事前にご準備いただいた資料の発表の流れは以下の通り

発表の 目的

各社が自社内で検討可能な施策案を発表することで、来年度実装に向けた各種課題への解決策や他サービス連携施策の具体的・現実的な検討を行う

発表の 進め方

事前にご準備いただいた資料をもとに、スライド3~4枚、1社5分程度で発表し、2分程度質疑応答する。発表と質疑応答が終了次第、グループ内で各企業分繰り返す

1社7分

資料の投影は各社ご自身でよろしく願いたします
投影が難しい場合は事務局が行います

グループワークの流れ

グループワークの流れは以下の通り

ワークの 目的

社会実装に向けて、各社が発表した施策案の具体化・絞り込みや、アンケート結果を踏まえた来年度の体制について討議する

ワークの 進め方

- 自己紹介

- 各社が発表した施策案について検討
 - 複数の施策でコラボやまとめられるものがないか検討
 - 来年度検討すべきものの選定
 - ✓ 観点：実現可能性、ニーズ、期間

15分

来年度に向けた体制について

続いて、来年度に向けた体制についての討議に移るため、今年度のPTの振り返りを行います

	アジェンダ	発表者	時間（90分）
10:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
10:35-	来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制について		
	各社取り組みたい内容の発表	-	30分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	10分
11:30-	来年度体制について		
	今年度PTの振り返り	事務局（千葉市）	10分
	来年度に関するアンケート結果の共有	事務局（千葉市）	5分
	グループワーク	-	15分

マイクロモビリティPT

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月3日実施）

第2回PT（10月6日実施）

アジェンダ

1. 今年度の実証実験の方向性
 - 今年度パーソナルモビリティ実証実験の方向性
 - 昨年度の実証結果（ILY-Ai・電動キックボード）
 - グループワーク：来訪者がマイクロモビリティを活用するシナリオ検討、および実証にむけた検証項目の検討
2. モビリティステーションの活用
 - モビリティステーション概要
 - グループワーク：理想のモビリティステーションを実現するために必要な機能・技術・モビリティ

1. 今年度実証内容
 - 技術・ビジネス検証内容
 - 実証フィールド候補
2. サービス利用時の課題解消策の具体化
 - グループワーク：前回PTで挙げたマイクロモビリティ利用時のネガ感情や課題の解決の方向性検討
3. モビリティステーションの具体化検討
 - モビリティステーション活用事例およびEVスクーターの普及促進について
 - グループワーク：モビリティステーションのタイプ（多機能・1モビリティ特化型）毎の機能、企業間連携の方法

主な検討内容

- マイクロモビリティ利用時のネガ感情
 - 乗車体験の不安（使い方・他社からの見え方等）、広報・PR不足等
- マイクロモビリティ実証に向けた検証項目
 - 設備、サービス機能、広報・PR、乗車体験、心理的不安等の項目検証が必要
- モビリティステーション
 - モビリティの種類、広報・PR、利用者ニーズ、安全面の課題、環境配慮といった視点から検討

- マイクロモビリティ利用時の課題解決策
 - 広報・PR：アプリやステーションを活用した使い方のルール啓発、SNS活用
 - 社会受容性：体験機会を創出することによるネガ感情払拭と安心感の醸成、等
- 幕張新都心にふさわしいモビリティステーションのあり方
 - 立地：駅前や商業施設など多くの人が集う場所への設置・来訪してほしい場所への設置など
 - 機能：充電、休憩スポット、学校との連携、Wi-fi機能、飲食・売店設置など
 - 機体：利用者の選択肢のため複数モビリティを設置

マイクロモビリティPT

2回のPTを通しての検討の成果、今後の課題や要対応事項は以下の通り

これまでの検討の成果

<マイクロモビリティ>

- 利用時の課題および解決の方向性検討
 - 乗車体験・社会受容性の課題
 - ・ モビリティの安全性や他者からの見え方などの心理的ハードル軽減のため、講習会や試乗会の会員企業と連携したイベント開催が有効
 - 広報・PRの課題
 - ・ 各モビリティアプリでの通知や各社SNSの活用、モビリティステーション、駅前などでの広告物掲示によりモビリティの使い方や利用シーンなどを紹介することが重要
 - 他サービス連携
 - ・ 商業施設のクーポン発行による連携や電車・駅構内での案内によるサービス誘導、MaaSとの連携

<モビリティステーション>

- 幕張新都心にふさわしいモビリティステーションの在り方
 - 機能要件の検討
 - ・ 充電スポットとして活用、会員企業とリソースを連携しつつ充電作業などを実施する
 - ・ 休憩スポットや飲食店などを設置し、他モビリティ事業者やMaaSアプリと連携し移動・購買データなどを互いのサービスに活用
 - 機体要件の検討
 - ・ 会員企業と連携した来訪者との意見交換やニーズ調査を実施したうえで詳細を検討すべき

今後の課題・要対応事項

- これまでの検討を受けたマイクロモビリティ関連課題解決策の具体化
 - 実証採択事業者を主体とした検討
 - ・ 社会実装に向けた座組
 - ・ ビジネススキーム
 - ・ 自動運転・インフラ技術
 - コンソ会員を含めた検討
 - ・ 広告・広報施策
 - ・ 社会受容性向上施策
 - ・ 他サービスとの連携施策
- モビリティステーション設置に向けた検討の具体化
 - モビリティ利活用PTと連携した検討
 - ・ 設置場所および検討主体者の決定
 - ・ ステーションの具体的機能検討
 - ・ 実行に向けた体制構築

モビステ視察のワークシート兼アンケート結果の共有

さいたま市モビリティステーション視察(第3回マイクロモビリティPT)の実施概要は以下の通り

実施概要

■ 日時

- 2022年12月15日(木)

■ 場所

- さいたま市モビリティステーション
(JRさいたま新都心駅より徒歩約5分)

■ 当日スケジュール

- 11:30 集合
- 11:30-12:00 OpenStreet株式会社様よりご説明
- 12:00-12:45 モビリティ試乗体験
- 12:45-13:00 グループワーク
- 13:00 解散

当日の様子



モビステ視察のワークシート兼アンケート結果の共有

モビリティステーション視察での気づきとして、駅から距離があるが**住民は利用しやすいロケーションだ、安全に関する啓蒙は初めての利用者には不十分と感じた等**の意見が挙げられた

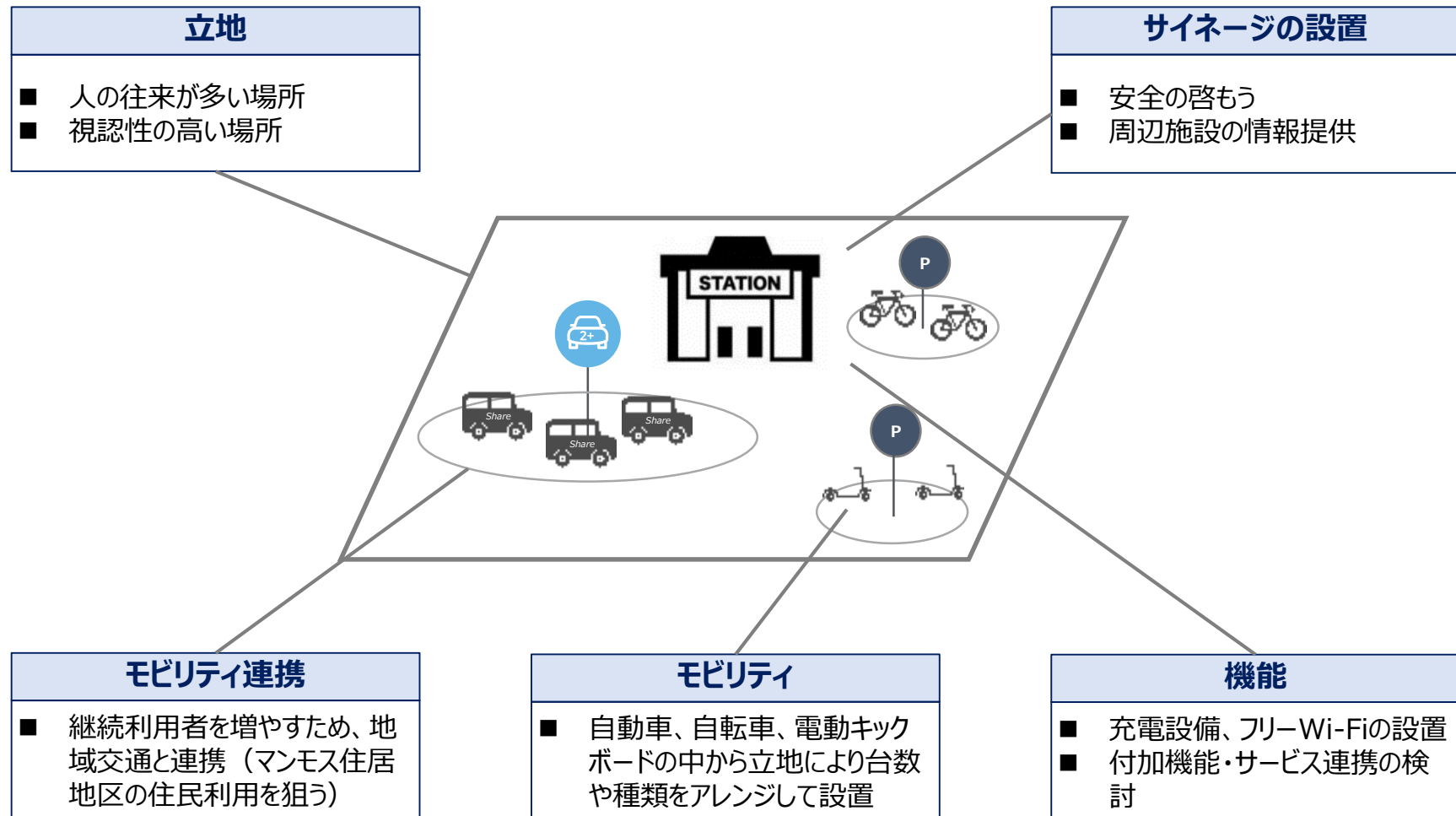
モビリティステーション視察での気づき

<p>立地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ マンションや公園に隣接しているため、住民は利用しやすいロケーション ■ 駅からやや距離があり(徒歩5~10分)駅利用者は使いづらい。また、駅からの動線にサインージや案内看板が無いため来訪者にはわかりづらい ■ 芝生とそれに囲まれるようにシンボリックな木造の建物がきれいに整備され、目をひくような作りになっている ■ 広いスペースを活用し、建物に同化しないようにモビリティが配置されているので視認性が高い
<p>機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電スポット、トイレ、自動販売機、待合室などの設備あり(バスターミナル兼用) ■ さいたま市フリーWi-Fi完備 (速度:320mbps) ■ 待合室内のデジタルサインージに周辺マップや周辺施設の案内はないが、張り紙・チラシでの周辺情報案内あり ■ 飲食店や売店はなし ■ 安全に利用するための啓蒙について、運転方法など最低限のものはあったが、初めての利用者には不十分だと感じたので、掲示物を設置したりアプリ内で確認できることなどが必要
<p>モビリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小型EV(4人乗り)、電動スクーター、電動アシスト自転車 (ママチャリ、クロードタイプ、小型タイプ) が設置 ■ 既存交通の隙間を補完している ■ 商業施設に近く、バス、マイクロモビリティ、自転車という形でラストワンマイルへの配慮があった ■ 多様な車種を短時間かつ少額での値段から利用できるので、ニーズに臨機応変に応えることができる ■ 自転車が足りていないなど、地域の人口に比べて少ない印象 ■ アプリを一元化できたらより利便性が向上してスムーズになるのではないかと
<p>感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普段体験することができないモビリティの試乗体験で利用イメージを掴むことやモビリティステーションの運営管理の内情を知ることができ、とても勉強になった ■ 実際の施設やモビリティを見学/体験しながら幕張エリアでの活用を想定することでよりイメージを沸かせることができた ■ モビリティサービスのみでなく、太陽光・風力発電など再生可能エネルギーにも積極的に取り組まれており参考になった ■ 幕張新都心と街の特性や施設の配置、既存交通網などが似ている地域のモビリティの有効活用例を知ることができれば、より幕張新都心のモビリティ利活用に資することができると思う

モビステ視察のワークシート兼アンケート結果の共有

モビリティステーション視察の結果を踏まえた幕張新都心におけるモビリティステーションの結論は以下の通り

今期の検討内容まとめ



モビステ視察のワークシート兼アンケート結果の共有

モビリティステーション視察の結果を踏まえた幕張新都心におけるモビリティステーションの残論点は以下の通り

残論点

WHY	利用者ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者ニーズの把握 ■ <u>幕張新都心のエリア別需要の把握方法・主体</u>
WHO	主体	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>モビステ運営座組の検討</u> ■ <u>各施設が連携する際の具体的な座組（費用負担含む）</u>
WHAT	機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全を啓蒙するための発信内容や方法(動画、画像、文章等) ■ サイネージの設置主体 ■ 需要に合わせて充電設備の台数を決定する方法・主体 ■ その他シーンに応じた付加機能・サービス連携の検討
	モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車はEV車とガソリン車どちらにするか ■ <u>鉄道やバスとのシームレスな連携方法の具体化(座組など)</u>
WHERE	設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張新都心内の様々なエリアの中から、人の往来が多い場所を選定する方法・主体 ■ <u>カフェや休憩施設を併設したモビリティステーションを設置できるような場所</u>の選定
WHEN	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設置スケジュール等の検討
HOW	広報	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幕張新都心エリアにおける視認性の高い場所の具体化 ■ 視認性を向上するための工夫の具体化(発信内容や方法、ロゴ等)

来年度に向けた体制について

続いて、来年度に向けた体制についてのアンケート結果の共有に移ります

	アジェンダ	発表者	時間（90分）
10:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
10:35-	来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制について		
	各社取り組みたい内容の発表	-	30分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	10分
11:30-	来年度体制について		
	今年度PTの振り返り	事務局（千葉市）	10分
	来年度に関するアンケート結果の共有	事務局（千葉市）	5分
	グループワーク	-	15分

アンケート結果概要

アンケート結果概要は以下の通り（回答は6社）

モビステ設置のために必要なこと	回答数
①整備主体（座組）の決定	2
②設置場所の決定	0
③費用負担の在り方	3
その他	設置目的とビジョンの具体化（千葉市内）

- どこが主体となってステーションに事業性を持たせるのかも含めて座組が必要
- 特にビジョンについては、現在千葉市様にて進めている脱炭素やスマートシティ推進の動きなども関連させながら検討すべき

等

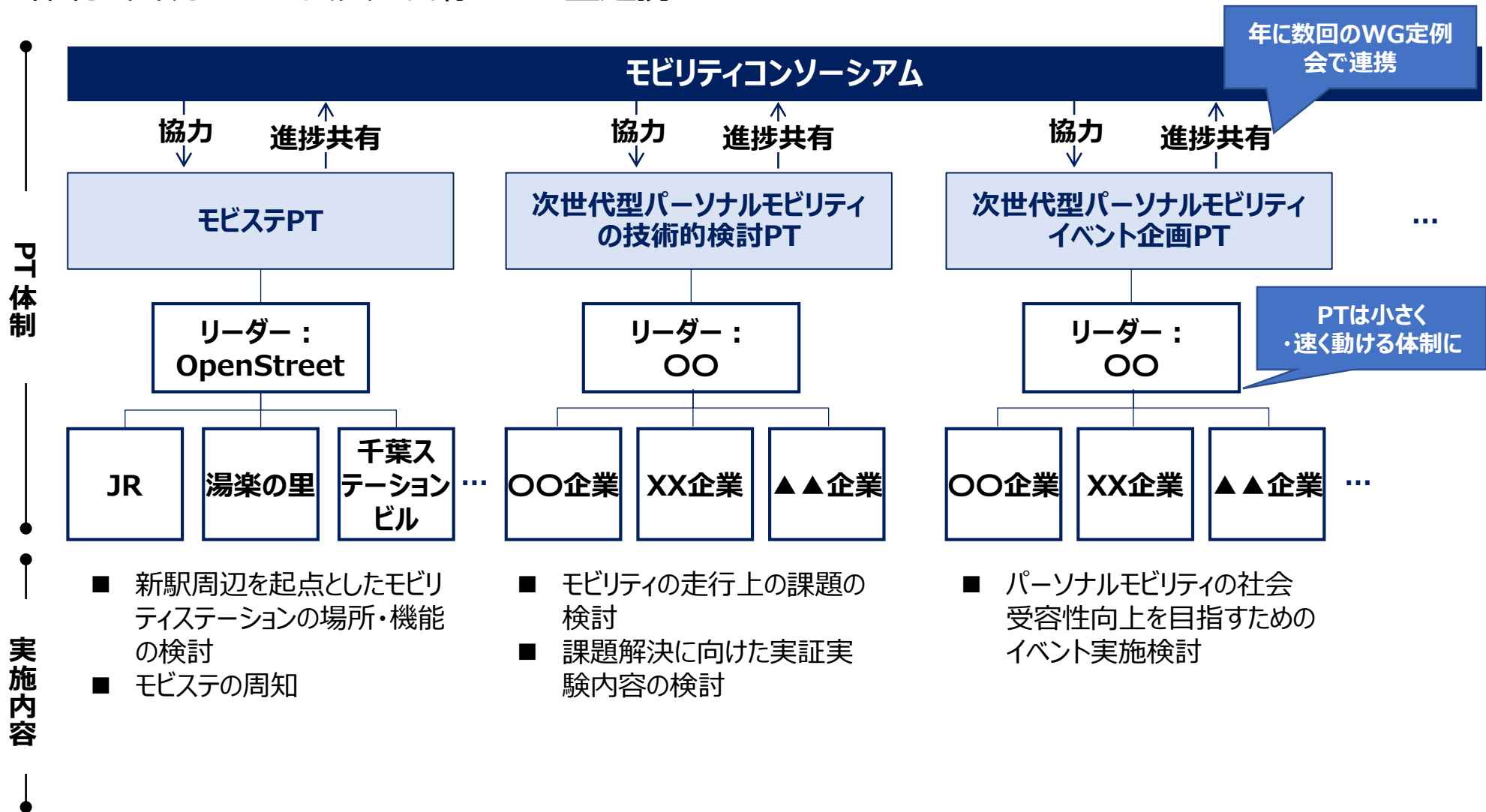
マイクロモビリティPTの体制	回答数
①現状の体制のままがよい	1
②体制を変えた方がよい	5
その他	0

- もう少し関係者を絞って、モビリティステーションに関する事業会社が主にPT内で提案をするなど、議論の目的を明確にした方がよい
- 具体的に取り組みたい目的の方と情報収集、人脈形成目的の方もいらっしゃると思いますので、目的に合った、体制と構成が良い

等

来年度の体制案

来年度は具体的事案に対して、実施主体（リーダー）を筆頭に、各PT2~5社程度で素早く動ける体制を実現。コンソ会員の皆様とは適宜連携。



来年度に向けた体制について

続いて、来年度に向けた体制についての討議に移ります

	アジェンダ	発表者	時間（90分）
10:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
10:35-	来年度に向けた施策案の具体化・来年度の体制について		
	各社取り組みたい内容の発表	-	30分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	10分
11:30-	来年度体制について		
	今年度PTの振り返り	事務局（千葉市）	10分
	来年度に関するアンケート結果の共有	事務局（千葉市）	5分
	グループワーク	-	15分

グループワークの流れ

グループワークの流れは以下の通り

ワークの 目的

社会実装に向けて、各社が発表した施策案の具体化・絞り込みや、アンケート結果を踏まえた来年度の体制について討議する

ワークの 進め方

- 質疑応答 5分

- 来年度の体制について討議 10分
 - アンケート結果を踏まえた実施体制へのご意見
(コンソの体制、協力体制、外部の巻き込みなど)
 - 取り扱うテーマ（他にあれば）
 - 参加したいPTについて

事務局よりアナウンス

アナウンス

事務局からのアナウンスは以下の通り

1. 第3回モビリティWG

- 2月下旬頃を予定

2. 第5回総会

- 日時：3/10（金）14:30~15:30
- 場所：千葉市役所新庁舎（高層棟2階）

「学」
について

IMAGE
NOTE

令和4年度 モビリティコンソーシアム

ありがとうございました！

MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER²⁴

以上